

全 員 協 議 会 記 録

令和元年8月2日(金)
10:00~11:15
全 員 協 議 会 室

〔議員〕

川神議長、田畑副議長
三浦議員、沖田議員、西川議員、村武議員、川上議員、柳楽議員、串崎議員、
小川議員、野藤議員、上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、
芦谷議員、永見議員、佐々木議員、道下議員、西田議員、澁谷議員、
西村議員、牛尾議員

〔執行部〕

健康福祉部長、子育て支援課長、子育て政策係長、子育て支援センター事務長

〔事務局〕 局長、次長、議事係長

議 題

1 子育て支援センターの建設について

2 地域井戸端会の開催について

3 その他

【詳細は会議録のとおり】

川神議長

昨日の島根県議長会の研修会にご参加いただき、ありがとうございます。有益なお話の中で今日からまた議会活動の中に活用していただければと思います。

ただいまから令和元年8月2日の全員協議会を始めます。本日は三浦議員から欠席の連絡を受けていますので、ご報告しておきます。

それでは議題に入ります。

1 子育て支援センターの建設について

川神議長

本日は子育て支援センターの建設について、執行部に現時点の方向性を説明していただき、議員からの意見を聞かせてもらいたいとのことです。最初に執行部の説明を受けた後、説明に対する質疑、最後に議員からの意見という順で進めたいと思います。

皆さん方をお願いしたいのは、今回子育て支援センターに関して、様々な関係機関やいろいろな階層の方からのご意見も頂いているということで今回説明があると思いますが、是非議員の視点できちんと意見をいただき、総合的に判断していただきたいということです。活発な意見を皆さん方から頂戴したいと思っています。執行部はそれをきちんと受けていただき、議論に役立てていただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

まず、健康福祉部長から説明をお願いします。

健康福祉部長

(以下、資料をもとに説明)

子育て支援課長

(以下、資料をもとに説明)

子育て政策係長

(以下、資料をもとに説明)

川神議長

ありがとうございます。ただいま担当部署から説明がありました。まずは説明内容について確認しておきたいことについて質問を受けたいと思いますが、いかがですか。

西川議員

現在の子育て支援センターでファミリーサポートセンターですか、まかせて会員等はかなり地元の方の協力を得ていると思います。場所が変わった場合、この事業自体はどうお考えでしょうか。

子育て支援課長

ファミリーサポートセンター事業自体は継続していきたいと考えていますが、場所が変わるとまた新たな支援の方の輪を広げながら続けていこうと思います。またファミリーサポートセンター事業自体を必ず子育て支援センター内でしなければいけないわけではありませんので、その辺も柔軟に考えながら建設場所決定後に全体を考えていければと思っています。

西川議員

ファミリーサポートセンター事業の内容を確認したいのですが、面倒を見る方はご自宅でお預かりする形でしたよね。

子育て支援課長

まかせて会員さんのご自宅でお預かりするのが原則ですが、近所の利便性もあって、家まで連れて来られなくても私が支援センターまで行くという対応もされているのは確かです。本来明文化されているのは、まかせて会員さんのご自宅、ということになっています。

西川議員

場所が変わったとしても今の会員の方へのマッチングのお世話という

子育て支援課長	<p>のは、引き続き何らかの形で残されるということですよ。</p> <p>まだ場所が決定してないので1人1人に確認はしていませんが、市としては協力できる範囲で今後も協力していただければありがたいと考えています。</p>	
柳楽議員	<p>「浜田市子育て支援センターの建設について」の最初の部分で、平成30年度の利用者数1万7461人とありますが、この中で検診時に利用された人数を教えてくださいなのですが。</p>	
センター事務長	<p>検診時の人数は2029名です。</p>	
柳楽議員	<p>検診回数ほどのくらいですか。</p>	
子育て支援課長	<p>24回です。三歳児検診だけはあの会場ではできないとのことで福祉センターでしていますので、12回×2種類で24回です。</p>	
柳楽議員	<p>延べ人数だと思いますが、実人数はわかりますか。</p>	
センター事務長	<p>延べ人数は来所児童数は7764名、引率の方が6542名となっています。</p>	
柳楽議員	<p>実人数としては今すぐ分からないということですか。</p>	
センター事務長	<p>登録人数でよろしいですか。</p>	
柳楽議員	<p>できれば利用された実人数で。</p>	
子育て支援課長	<p>子育て支援センターは最初に利用する際に必ず登録してもらいますので、今登録してある人数でしたら千人ちょっとです。登録する際に必ず1回は来ますので、その登録者数が千人というだけで、年間利用者の中の実人数は把握しておりません。</p>	
柳楽議員	<p>千人くらい登録者がおられるとのことですが、毎年登録が必要なのですか。</p>	
子育て支援課長	<p>毎年、その年度の最初に来られた時に登録していただいています。</p>	
小川議員	<p>2ページですが、子育て世代の包括支援センターの関係で複数の保健師を配置することになっています。機能を市役所内からセンターに移すということですが、どれくらいの人数増やされる計画でしょうか。</p>	
子育て支援課長	<p>この4月から子育て支援課のフロアから一本離れたところに、子育て世代包括支援センターが分離して置いてあります。一応子育て世代包括支援センターには保健師を常勤で必ず1名と、複数の非常勤の設置義務がありますので、2人ないし3人くらいは最低でも新しい子育て支援センターに移らなければいけないと思っています。</p>	
<td data-bbox="151 1498 384 1711"></td> <td data-bbox="416 1498 1481 1711"> <p>また今の考えだと出産後1ヶ月くらいで全家庭に赤ちゃん訪問をやっていますが、その本部も子育て支援センターに置いて、そこから赤ちゃん訪問に出かけて行ってもらう体制を取ろうと思っていますので、どのあたりを子育て世代包括支援センターで担うかによって多少変わりますが、最低でも2人ないし3人はそちらへ移ろうかと思っています。</p> </td>		<p>また今の考えだと出産後1ヶ月くらいで全家庭に赤ちゃん訪問をやっていますが、その本部も子育て支援センターに置いて、そこから赤ちゃん訪問に出かけて行ってもらう体制を取ろうと思っていますので、どのあたりを子育て世代包括支援センターで担うかによって多少変わりますが、最低でも2人ないし3人はそちらへ移ろうかと思っています。</p>
小川議員	<p>次の「他の3つの支援センターとの情報共有、連携」について書かれていますが、参加者のセンターには30年度の利用人数がそれぞれ記入されています。この方々がすすくを利用するにあたってどのくらいを想定されていますか。利用されているところはそのまま変わらないのを前提に考えておられますか。</p>	
子育て支援課長	<p>現在も内容によっては松原町のすすくに行ったり、地域で身近なところに行ったりと、いろいろな使い方をされているので、新しい支援センターに何パーセントくらいといった試算材料はうちでは持ち合わせていませんが、柔軟に利用していただければと思います。お母さま方皆さ</p>	

ん情報ツールを持っておられて、今日は三隅町のおひさまでこういう行事があるから行ってみようとか、明日はすくすくで面白いことがあるから行ってみようとか、柔軟に利用していただいているので地域を問わずいろいろなところを体験していただければと思っています。ただ、何かお困りごとや心配事等の相談には、簡単なことはまず地域の方へ出向かれて、そこで専門の保健師につないだ方が良い案件だと判断されたら連携をしっかりと、中核的な支援センターへ集約する流れにしたいと思っています。日常の遊びについてはお母さまがご利用しやすいところで、ご利用しやすい内容を体験してもらえればと思っています。

川神議長
牛尾議員

その他にありますか。

私も孫が帰省した時にすくすくに登録して何度か行ったことがあります。がらがらで非常にゆったりした空間で良いと思いました。そこが混雑していて辛かった経験は一度もないので、逆に先ほど言われた実数が何人なのか議会から質問した際に「分からない」という回答になるのがピンときません。実数はこれくらいで、年数も経っているし早急に建て替えしなければいけない、これは悲願ですと言った部長の見解と、現場の実態の答弁が噛み合っていないような気がして。何か切実感がないのです。僕は数回しか体験してないから一概に言えないけど、適正規模はどのようなのかも含めて一定規模というのは当然マニュアルにあるのですが、実数を把握してなくて適正規模も見えてこない。これだけの人数が利用しているからこれだけの面積が必要なのだといったものが、こちらへ来ない気がするのですが。いかがでしょうか。

子育て支援課長

実数というのが結局リピーターさんがいらっしゃるので、何回来たというのは確かに把握していませんが、先ほど言ったように年度初めての利用の際には会員登録が必要ですので、今年度の実数は既に千人程度とだけいただければと思います。1日の平均利用者数が60人になっています。実数というよりは毎日平均60人の方があそこを利用されているため、原課としては必要性を感じています。

牛尾議員

何度か行ったことがある僕の感覚では、本当にそんなにお見えになっているのかなというのが素朴な疑問だったので質問しました。

野藤議員

5ページのアンケートに、一番多いのは現地での全面改築または既存建物改修で、既存建物改修は無いというご説明がありました。現地の全面改修についてアンケートの中には、利便性の良さ等メリットが一番光っていたように思いますが、今の物を使いながら空いたところで改築をするということなののでしょうか。例えば改築をされるのに、別のところに一時移転をしてから、という検討はなされたのでしょうか。

子育て支援課長

現在考えているのは、敷地内の今の公園の駐車場部分に建てて、建て終わった後に現在のところを解体して駐車場にすることしか。あれだけの規模の物を1年弱移すことが困難ですし、また転入してこられたばかりのお母さんや子供が生まれたばかりのお母さんに、その場所を説明するのも混乱するのではと思いますので、現地でやるなら今の空いたところだけで考えています。アンケートの「現地での全面改築と改修」ということを一緒にして39.3パーセントですが、その時のアンケートは、現地での全面改築と既存建物の改修とを一応分けて取っていて、人数で言うと現地で全面改築は242人、既存建物を改修して使えば良いというのが20

20人、合計して442人で、福祉センター方面への移転新築の403人を、人数では上回っている。詳細に言えばそういうところです。

野藤議員　　今は場所の検索もスマホでされるので混乱するということはまずないと私は思います。小学校の改築等でもそうですが、長浜小学校の現地改築は非常に厳しかったという状況もあるので、そういう聞き方をしました。

子育て支援課長
村武議員　　7ページの建設候補地の比較のところでも、浜田市子ども子育て支援専門部会委員の方の意見から見ると、現地改築が非常に光っているように私は思います。その辺ももう少し検討されたら良いのにと感じて質問をさせていただきましたが、いかがでしょうか。

子育て支援課長
村武議員　　1つの意見としていただいております。

子育て支援課長
村武議員　　年間利用者合計が、平成29年度が1万7778人、年間開設日数が293人、これを単純に割ると平均利用者数が1日60人程度となります。今年度も開催しており私も行きましたが、すすく祭り等の時にかなりの人数の方が来られると思います。そういったイベント時の来場者がこの中に含まれて日数で割っておられるのですか。

子育て支援課長
村武議員　　全て入っています。その時に400人くらい来られましたが、それもカウントしての人数です。

子育て支援課長
村武議員　　そうなるとイベント以外の平日には、もう少し少ない人数ということになりませんか。

子育て支援課長
村武議員　　日にち、天候、中でやっている行事の内容によっては、人数に多い少ないがございます。そういうことも含めてしっかりと新しい、中核になる支援センターを建設して、子育て世代の市民の方に利用していただきたい思いがございます。

子育て支援課長
川神議長　　もう1つ確認ですが、実人数が先ほど千人程度と言われたのですが、これは子供の数ですか。

子育て支援課長
川神議長　　子供だけです。

子育て支援課長
川神議長　　以上でよろしいですか。

（ 「はい」という声あり ）

岡本議員　　では、説明に対する質疑はこれで終了させていただきます。次に皆さんからの各ご意見を頂戴したいと思います。その際、執行部からの答弁はおそらくありませんので、まずは議員としての意見をきちんとこの場で述べられたい方は述べていただきたいと思います。

説明の中で、現在は木造で574平米という話でした。この度計画するのが600平米で、この計画では鉄骨造を考えているが木造も、というお話でした。

最近、木育や、循環型社会とあって、浜田市は85パーセント以上が森林で、この木材をどう活用するかという観点で、市の運営する施設については木造を考えるべきだろうと思っています。十分可能な範囲でもあるところも含めて、内部だけ木造ではなく全体も木造で考えられたらどうかと思っています。併せてデザインについても木造の方が可能な範囲だと思っていますし、お願いしたいと思っています。

また、視点は変わりますが、今、衛生管理型の工事をやっていますが少し遅れているようで、実は浜田市内に鉄骨業者がいなくなり、益田の業者さんにされたということで。地産地消の観点からも、木材は浜田に

あつて職人さんもいるのですから、是非木造を考えていただきたい。それと、その建物が本当にノーマルな建物ではなくて、しっかりしたデザインで皆に喜ばれ、行ってみたい施設にしていきたい。

牛尾議員
川上議員

私は野藤議員が言われたように、現地改築が望ましいと思います。

基本設計等を見ているのですが、実際の流れの中では早くやっていただきたいという意見がたくさんあると思います。そうしたら基本設計して詳細設計して、それから発注して施工するという形をとらずに、もう基本構想があるならデザインビルの方向も考えていただくことが必要かと思ひます。デザインビルについてはなかなか理解しにくいかもしれませんが、これが一番早い方法ではないかと思うので、是非ご検討に加えていただきたいと思ひます。

村武議員

子育て世代の方、または子育てに関わる方、全員を対象にした子育て支援センターにしていきたいと思ひます。現在も土曜開設等はされていると思ひますが、浜田市において働いている家庭が大変多いので、今の開設曜日ですとなかなか行きにくいという意見を、いろいろな子育て世代の方から聞いています。先ほど提示していただいた資料にありますが、利用したことがない理由についての部分で、必要を感じないというのが約30パーセントあります。これはどういう理由で必要を感じないのかが大切ではないかと思ひます。支援をしていただく方が周りにおられる方もいらっしゃるかもしれませんが、現在の子育て支援センターが自分にとっては必要ではないと感じている方もいらっしゃると思ひます。そのところをもう少し、子育て世代の方からの意見をくんで検討していただきたいと思ひます。私自身は、働いている方たちが行きやすい子育て支援センターにしていきたいと思ひます。今現在、休みの時に子供を連れていくところが少ないという意見も本当に多いです、公園も少ないです。あとお父さん単独で子供を見る場合、なかなか行くところが少ない。こういう時に充実した子育て支援センターがあればそこに行って遊ばせることもできるでしょうし、子育てについての悩みも言えると思ひます。

私は個人的には建設予定地は福祉センター横が良いのではないかと思ひます。理由は、近くにこども美術館もありますし、隣に福祉センターもあるので、そこを利用する高齢者の方達と連携して活動できると思ひますし、県立大学もそばにありますので大学生は結構、時数が空いている時がありますので、そういった時間を利用して子育て支援のボランティア等もできるのではないかと思ひます。

市内の拠点になる施設ということですが、他自治区や他地域からも大変利便性が高いのではないかと感じます。課題はあると思ひますが、誰もが行きやすいということを考えていただければと思ひます。

上野議員

以前、宮崎県の日南市へ行った時に商店街を元気にしようということで、商店街の空きビルの中へこうした施設を作っておられて、お母さん方も買い物ができるし子供の声がしてすごくまちが元気になったと聞いて、大変感心して視察を終えました。こうしてみると、そういったことが全く示されておらずすごくショックでした。できればバラバラでなく地域を元気にする何かの仕組みもして欲しい気がしますし、旭町も4月から2ヶ月で結構利用者が多い、それは復帰センターの奥様も若いしそ

う方もおられるので、そういった関係だと思えますが。できれば三隅町も旭町もありますし、できれば金城町に近いところにしたら地域の方も喜ばれるのでは、また地域が元気になるのではという気がしました。日南市は本当に感動しました。建物に入ったら木の匂いがして子供も元気に騒いでいました。木育も取り入れていただきたいと思えます。

今回常任委員会で長岡市の子育て支援センターを訪問させていただいたのですが、松江市くらいの人口規模の市で子育て支援センターが12あります。4億円、5億円くらいの規模の立派なものもいくつもあって、その中の1つを訪問させていただきました。そこは非常に駐車場が広くて、年間利用者が400人を超えているのは駐車場の関係かなど。あと交付金の利用が非常に上手で、4、5億円かかってもまちづくり交付金や都市公園事業費補助金等で2億円以上国から補助金をもらって、一般財源の持ち出しが7万円とか100万円とか、非常に微々たる持ち出しで作っているのがすごいという印象を持ちました。今の浜田市の600平米という面積は非常に狭いです。千平米を越えるくらいゆったりした空間で、のびのび育てていただくというか。広く言えば乳児の方、1歳児の方、3歳児、4歳児、小学校、そういう人を対象にした遊び道具を置いてあって、そういう人が集まっていきます。自然に分かれていくというか。大きなスペースでやっているのも非常に回遊性もあるし、よくできているという印象を持ちました。浜田市の現状からいくと出生数が400人を割っているという危機的状況から考えれば、この子育て支援センターはすぐ作らなければいけないくらいの問題だと思えます。浜田市には子育て支援センターが1つもない時に視察に行って、十数年前に宇津さんに陳情したが、財政的に余裕がないので今の施設で堪えてくれという感じでした。でもあれから時経ち、きちんとした子育て支援に対してメッセージを送る、市民にメッセージを送る。子育て支援を大事にしていると。そのためには快適な空間、立派なものでその施設をもとに江津の人も益田の人も移りすんで浜田のそこに通いたいと、そこが拠点になって各地域にまた子育て支援センターができていく、そのくらいしていかないと浜田市の危機的状況は解決しないと私は思っています。令和4年の開設ではもう遅い。私は場所的に印象に残っているのは、3、4年前だったか、久保田市長が予算委員会で断言されたのです。福祉センターの横だと。その発言は非常に重い印象が僕にはあって、予算決算委員会の答弁等でもう断言されるかと。予算決算委員会で市長が答弁する必要は全くないのに、市長はその時マイクを持って答弁されたのです。ただ、病児・病後児保育にいろいろなトラブルがあって、その後に医療センターという提案が出ると、病児保育がそれで可能なのかなと思えば、お話を聞くと実際はそうではないし、近くに作ったからと言って絶えずそこに常駐してもらえないわけではないし、あまり意味がないという指摘も聞くと、やはり人が集まりやすいところにまず拠点を作るべきではないかと私は思います。

まず予算の問題。急いでもらう。令和4年ではなく、すぐ詳細設計が出ないと。現状の意見も聞いて着工を急いでいただきたい。それと予算に対しての交付税や補助金の仕組みを調査して、なるべく持ち出しが少ないような形に検討いただければと思います。そこは利用者が非常に多い施設でしたので、浜田市もそういう施設を目指して、お願いしたいと思

西田議員

います。

基本的に現施設の問題点は老朽化しているとのことなので、基本は現施設に建て替える。地域の方々も望まれている。そういうことでは現施設のところに建て替えることは基本だと思います。それ以外では、いろいろなアンケート等を見ると、福祉センター横が土地も開いているし県立大学やこども美術館が近いこともありますが、その二つがどのくらい連携できるかはまだ具体的には何も考えられていないと思っています。

もし現場所を変えて福祉センターに持っていくとすれば、これは私の試案ですが、所管は違いますがこども美術館3階の多目的広場を「海の見える木育広場」に大改装する。こども美術館はそのままで。所管は違うけど子育て支援センターとこども美術館が連携して、美術館とセンターとを行ったり来たりできる、プラスアルファの複合的な斬新な考えがない限りは現時点で建て替えると思っています。木育や木造に関しては大賛成です。

西川議員

地元に住んでいます。地元の声は執行部の方も気になっておられます。今関わっておられる方はもちろん、またそこに建て欲しいと言われていきます。私も昨年度に地元の方と一緒に桜餅を作ったりクリスマス会に行ったりしています。私も町内会長だったら地元で建て替えてくれと言っているのですが、普通に今の立場からすると、地元は高齢化しています。津波が来ても避難所がなく、町内の方は「もう良い。ここで死ぬ」と言われているようなところなんです。もし今の場所に建て替えるなら2階建て以上のものができて避難施設になり得るなら意味があると思いますが、そうでなければ子育て支援センター機能を発揮するのであれば、建設検討委員会にも何度か傍聴に行かせてもらっています。そこには今利用されている方も来られていたので現地建て替えという声が強かったと思いますが、その中ではもっとフラットな意見が出たと思います。最終的な結論としては福祉センターの方に建て替えていただくのが自然体としては良いと思います。なぜならアクセスが良いので他地区からも来られること、美術館とも連携できること、津波による被災の心配がないこと。地元の方には、子育て支援センターに子供がいなくなっても町内にちどり保育園があります。町内としてはちどり保育園と連携も考えられるし、今の施設がなくなったら簡易でも良いので津波の際に避難できるような施設が代わりにできれば町内にとっては良いし、前向きに考えてもらったらと思うので、場所としては福祉センターの横です。

笹田議員

いつも疑問に思うのですが、先ほどのアンケート結果は、現地建て替えと。委員の話は13人が福祉センター横という話ですが、最終的にはどのように決めるのかなど。いつも思います。今回こうやって議員の話を聞いても、現地建て替えの人もいれば福祉センター横という話もあって、とてもではないが1つに意見集約できないと思います。市としてはどういう基準で意見を聞いて、どういう取り入れをしてそれを決定していくかが見えないのですが、まず説明してもらえないでしょうか。

川神議長

差支えないところでコメントをお願いします。

健康福祉部長

ありがとうございます。もうとにかく意見をいただいているいろいろな意見を充分議論して、総合的に最後は市長以下で決めさせていただきます。すみませんがそれ以上申せることはありません。

笹田議員

分かりました。例えば多い方の意見を採用するなら分かりやすいですが、多い意見が採用されない場合もありますので、どのように決められるのか疑問を持っています。

もう1つは、私も地元です。先ほど西川議員から、高齢者が多くて「ここで死んでもいい」という話が出ましたが、うちの両親はここで死にたくないなので必死で逃げると言っていました。そんな人だけじゃないということもご理解いただきたいと思います。

やはり地元の方からは残して欲しいという意見があります。前も原井小学校の跡地で問題になったと思いますが、施設が逃げた後の跡地利用は地元に住む人にとって死活問題です。原井小学校の跡も今はもう宅地が建っていますが、結構時間が経ってから宅地になった例もありますし、不安も抱えています。市が示す広さで事足りるなら現地改築して、今まで以上に市民が来やすい、子育て世代が来やすい形にするのがベストではないかと思っています。

芦谷議員

一般的に言われるのですが、保育所が公立でない場合になかなか市町村行政が保育行政・子育てに対するスタンスを持っていないという例があります。浜田も確かに民間ばかりです。問題は旭と三隅に拠点があるのですが是非センターを作るなら、サブ拠点も設けながら保育所も一緒に提供する。悲しいことに浜田市では保育連盟が分裂して、市直轄の保育所がない代わりにしっかりした保育団体・子育て団体をまとめていって浜田市のメッセージを発する、これに徹して欲しいと思います。

川神議長

その他ありますか、よろしいですか。

(「なし」という声あり)

一応皆さんから意見を伺いました。おそらく執行部におかれても今までのデータベースに加えて今日の意見も加味しながら議論されることと思います。私からお願いしたいのは、こういった建設計画や大きな政策の転換の時には、市民からの賛否両論が必ずたくさん出ます。これはやむを得ぬことだと思いますが、市民が求めているのはその決定過程がいかに透明化されるか、なぜそうなったのかきちんと説明して欲しいということです。最終的には市長が決定するなりいろいろな政策決定の落としどころはあると思いますが、情報と最後の決定に関しての経緯は胸を張って言えるように、市民に情報発信できるような政策決定を心掛けていただきたいとお願いしておきます。

ではこの問題に関して意見がないようでしたら、執行部の皆さんはここで退席していただいて結構です。

《 執行部退席 》

2 地域井戸端会の開催について

川神議長

議題2について、小川議会広報広聴委員長から説明をお願いします。

小川委員長

(以下、資料をもとに説明)

川神議長

今の説明について確認しておきたいことがありますか。

布施議員

秋の井戸端会は大事だと思いますが、会場選定について伺いたい点があります。旧那賀郡の公民館関係はいろいろなところでやりますが、浜田市内の開催場所については、例えば石見公民館は分館がたくさんあり

ます。小さい声を拾うための分館開催は必要ない感じなのでしょうか、それともたまたま今回こういう選定になったのでしょうか。

小川委員長

申し訳ないですが浜田については石見公民館と浜田公民館を交互にするということで、分館を会場にする発想について議論や検討をしたことは、私が委員長になってからはありません。それ以外の会場についてはその出身議員の方の意見や地域の実情も含めて決定していますが、浜田は2カ所が交互です。今後そういう意見がありましたら分館でやる方向も検討していただければと思っていますが、年に2回やる分については来られる方が固定化している問題もあります。場所を変えることで変わる可能性もありますが、もう少し違ったチャンネルがあっても良いのではということも片方では考えています。例えば春は議会報告会を開いて秋はもう少し違った形でどうか、ということも検討しています。布施議員が言われたような浜田市内の会場についても、また議会広報広聴委員会内で議論し、検討したいと思えます。

佐々木議員

1つ気になることがあります。前回の春が終わった時も、議員に今後の検討課題や反省的なことを集約されると思えますが、私もそれなりに自分の意見を書いたつもりですが、その辺を踏まえた検討が、多分委員会では共有されていると思えますが、もし様子が分かれば。こういうことは反映したとか、これはこうする余地があるとか。

小川委員長

そこまで検討はしていませんが、各議員が関わられて感想も含めて出していただいたものは、具体的にはまだ詰めていません。議会広報広聴委員会内にも10人いますので、その方とそれ以外の方の意見を照らし合わせる中で、今後の在り方についても視察内容と併せてやりながら、今後どのように工夫していくかにしか、なってないです。皆さんの意見をどう盛り込んで活かしていくのかについては、不十分な議論になっていると私自身は思っています。

佐々木議員

いろいろ大変だと思います。先ほど先進地を考えたり入れこんだりという話があったので、せっかくなら今やっている浜田市議会のメンバーの意見も参考にさせていただければありがたいという気持ちがあったので。しっかり考えておられると思えますが。

川神議長

その他よろしいですか。

(「はい」という声あり)

3 その他

川神議長

その他、せっかくの席ですので、何かあれば発言をお願いします。

(「なし」という声あり)

はい。では事務局長から。

古森局長

(以下、資料をもとに説明)

川神議長

それではこれで全員協議会を終了します。

[11時 15分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 川 神 裕 司